2026/02/24

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団（日本 GIF）

オンラインセミナー

「東日本大震災から 15 年、復興の「通知表」を世界の羅針盤へ

―2014 年世界銀行レポートの再評価と検証―」

開催のご案内

2011 年 3 月 11 日から、15 年という月日が流れました。多くの犠牲を払って私たちが手にした教訓は、血肉化されたのか、あるいは風化の波にさらされているのでしょうか。2014 年、日本政府と世界銀行が編纂した「大規模災害から学ぶ　東日本大震災からの教訓」報告書は、痛切な日本の経験を国際社会の共有財産へと変える先駆的な試みでした。当時導き出された知見は、現在どのような状況にあるのでしょうか。

本セミナーでは、同プロジェクトを牽引された、明治大学特任教授の石渡幹夫先生を講師にお迎えします。石渡先生は、リスクコミュニケーションや組織間連携、災害弱者への配慮といった多岐にわたる視点から、2014 年当時の提言がその後の国内外の災害現場でどのように結実し、あるいは新たな課題として再浮上したのかを再評価し、検討します。これは、日本国内の備えを強固にするだけでなく、脆弱性を抱える世界各国の開発政策を導くための「グローバルな指針」としての価値を再認識する試みでもあります。

日本の災害復興は、「インフラ優先」と言われます。インフラは、単なる建設物ではなく、被災後の人々の生活を支え、持続可能な社会を築くための総合的なシステムであるべきです。物理的な施設整備を、いかにして現地の生業、コミュニティ、文化の再生というソフト面と融合させ、国境を越えて通用する持続可能な強靭さを構築できるのか。15 年という節目を、過去を振り返るだけでなく、日本が世界に対して果たすべき責任と役割を再定義する場として捉えます。国際協力や防災、そして社会基盤の未来に関心を持つすべての方のご参加を心よりお待ちしております。

**開催日時：2026 年 3 月 31 日（火）14 時～15 時半**

**開催方式：Zoom を使用したウェビナー（オンラインセミナー）**

☆事前のご登録を下記よりお願いいたします。

参加費：無料、どなたでもご参加いただけます。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_M13GVy1uRm-3kyLDlTTfcg

※当日ご都合がつかない場合でも、事前登録をいただいた方には、後日アーカイブ動画（録画）の公開についてご案内をお送りいたします。ぜひご登録ください。

※Zoom の仕様上、お名前を日本語で入力されると、ご登録確認メール記載の姓名が逆転いたします。ご容赦いただきますよう、よろしくお願いいたします。
※受講証明書の発行をご希望の方は、セミナー終了後のアンケートフォームよりご連絡ください。

**石渡　幹夫（いしわたり　みきお）氏プロフィール**

防災や水資源、環境、平和構築分野の ODA プロジェクト、研究、教育に従事している。これまで、世界銀行では上席防災専門官として、「大規模災害からの復興：東日本大震災からの教訓」に従事し、「Learning from Megadisaster: Lessons from Great East Japan Earthquake（共編著）: World Bank」、を出版している。国土交通省では 17 年にわたり、浜田河川国道事務所長、河川計画課企画専門官など、治水プロジェクトやインフラ整備、技術開発に携わる。アジア開発銀行都市開発専門官、クランフィールド大学防災研究所人事院派遣研究員を歴任。日本学術会議・東日本大震災復興支援委員会災害に対するレジリエンスの構築分科会特任連携会員を務めた。現在、明治大学特任教授、日本水フォーラム理事、CWS アドバイザー。防災、気候変動適応、水資源に関わる学術論文、著作多数。博士（国際協力学）。